

「古墳大国群馬へのあゆみ」

《講師》

梅澤 重昭氏 (元群馬大学教授)
松本 浩一氏 (元大胡町教育長)
前原 豊 氏 (前橋市教育委員会)
若狭 徹 氏 (明治大学文学部准教授)

コーディネーター 右島 和夫 (当館 特別館長)



綿貫観音山古墳 (当館撮影)

8 月 28 日 (土) 13:00 ~ 16:00

群馬に残されてきた多数の古墳。古墳は多くの人々の手により守り伝えられてきました。戦後の群馬県の発掘調査、文化財保護行政を主導してきた4方にお話を伺い、これからの「古墳大国群馬」の姿を考えます



公園として整備された大室古墳群でのイベント (前橋市教育委員会提供)



整備された保渡田八幡塚古墳 (群馬県文化財保護課提供)

●会場：群馬県立歴史博物館 視聴覚室

●定員：70名

●参加費：当日の観覧券が必要です。

企画展観覧料 (常設展も含む)：一般 700 円

常設展観覧料：一般 300 円

●申込方法：7月28日(水)より、電話による事前申込が必要です。

027-346-5522 (開館日の9:30~17:00)

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、内容を変更・中止する場合があります。

群馬県立歴史博物館

高崎市綿貫町 992-1 (群馬の森内)

TEL. 027 (346) 5522

